

<学校の教育目標より>

□仲良く助け合う子 □進んで学習する子 □じょうぶな体をもつ子

学力の分析

本校は児童数が少ないので、全国や都の学力調査の結果だけから、児童の学力を経年的にとらえるのは難しい。そこで、年度末に学校独自の学力調査も行い、学年進行や、その学年の学力の特徴を分析的にとらえている。また、学力向上の要としての校内研究で毎年明らかにしている児童の実態やアンケートの結果などから、本校の学力向上の重要な要素を見つけることで、学力の分析を数値だけに頼らず、多面的に分析する。

本校の強み	本校の課題																				
<ul style="list-style-type: none"> 【学力調査の分析より】 昨年度の全国学力状況調査の結果は、国語・算数ともに東京都平均より4ポイント高かった。また、算数は満点の割合が21.4%を占めていた。この結果から、学力全体で見ると比較的高いと考えられる。 本校独自のCDT学力調査の結果の経年変化を見ると、どの学年も平均値を超えた項目が多く、5年間にわたる国語を中心とした研究の成果として、どの学年も「読む力」がついている。昨年度課題だった「書く力」も徐々に伸びている。 学習に対する質問項目に対しても肯定的な回答が多く「興味・関心」が高いと言える。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語の記述式の問題は都平均よりも2ポイントほど下がる。また、観点で見ると国語では知識・技能は11ポイント高いが、思考・判断・表現は1ポイント低い。 TBDの診断シート結果を見ると、平均正答率については、やや低く5年は50%を切る割合である。正答率が50%未満の割合も、小5は50%と高く、他学年についても、下位層の底上げが、少人数の学校であっても引き続き課題である。また、満点をとる児童が、どの学年にも一人もいない状況であり、思考・判断・表現力の育成とともに、基礎学力の定着も大きな課題である。 それとともに、小規模校であるため、授業中の関わり合いを中心として育つ、思考・判断・表現力にも重点的に取り組んでいく必要がある。 																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>R3.8</th> <th>小3</th> <th>小4</th> <th>小5</th> <th>小6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均正答率</td> <td>61.6%</td> <td>72.1%</td> <td>48.8%</td> <td>68.8%</td> </tr> <tr> <td>満点割合</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>50%以下</td> <td>22.2%</td> <td>12.5%</td> <td>50%</td> <td>28.6%</td> </tr> </tbody> </table>	R3.8	小3	小4	小5	小6	平均正答率	61.6%	72.1%	48.8%	68.8%	満点割合	0%	0%	0%	0%	50%以下	22.2%	12.5%	50%	28.6%
R3.8	小3	小4	小5	小6																	
平均正答率	61.6%	72.1%	48.8%	68.8%																	
満点割合	0%	0%	0%	0%																	
50%以下	22.2%	12.5%	50%	28.6%																	

七小の考える学力

(子供たちに身に付けさせたい力)

- ・基礎学力
- ・楽しく自ら進んで学ぶ力 (主体的な学び)
- ・顔を突き合わせて学び合う力 (対話的な学び)
- ・物事を多面的に思考する力 (深い学び)

目指す児童像
(校内研究テーマ)
「自ら考え、みんな
で学ぶ子供の育成」
～付けた力をもとに、分かる、
できる、楽しいを実感し、共に
学び高め合える、国語・算数の
授業づくり～

青梅市学力向上
5ヶ年計画
～勉強好き、
青梅好きの育成～
「やる気」「根気」
「考える」

七小学力向上プロジェクト

プロジェクト①

「授業力向上・授業改善」 (校内研究の充実)

- ・全学級で研究授業及び協議会(国語・算数を中心に)
- ・教員同士による事前の模擬授業及び協議会
- ・研究テーマに合わせた講師の年間を通じた招聘
- ・ICT端末の活用
(学びの協働化)

プロジェクト②

「家庭学習の定着」

- ・家庭学習週間の新設&周知
- ・第六中のテスト期間を活用
- ・家庭訪問に「家庭学習のススメ」を持参し周知
- ・来年度に向けて「家庭学習のススメ」の見直し
- ・ICT端末の利用
(学びの個別最適化)

プロジェクト③

「基礎学力の定着」

- ・さわやかタイム(朝学習)
- ・デジタルドリルの活用
- ・七小算数オリンピック
- ・数検・漢検
- ・校内学力テスト(CDT)
- ・国及び都の学力調査
- ・放課後学習教室
(ステップアップクラス)

社会情動的スキル(非認知能力)の向上

- ・人との関りの中でコミュニケーション能力を中心とした非認知能力の育成
- ・スタートアップカリキュラムの推進(幼保小連携)

○新型コロナウイルス感染防止対策中における学力面での対応

- ・一人一台端末の積極的な活用(授業、健康観察、朝の会等をオンラインで実施)
- ・一人一台端末を活用した家庭学習の推進(課題の提示・配布、回収、オンライン教材の活用)
- ・WEBやテレビで学べる情報をホームページ等で適宜提供
- ・学年だより等での家庭への学習内容の情報提供と、協力依頼
- ・図書室の本の貸し出し冊数の拡大